

1-1. 事業概要

2025 年 4 月から 10 月まで 158 の国と地域が参加した大阪・関西万博が開催され、2500 万人を超える来場者が訪れた。大屋根リングや様々な形態のバビリオンには、多くの JSCA 会員をはじめとする構造技術者が関与し、来場者に驚きと感動を与えたものと思われる。関西支部が開催した「大阪・関西万博関連施設の講演会（全 3 回）」には JSCA 講演会として最多数の 1500 名の聴講者があり、関心の高さがうかがわれた。

2025 年 6 月の総会において、2025-2026 年度役員が選任され、30 名の役員のうち 9 名の理事が交代した。2 期目となる小林会長が引き続き会長を務め、会の運営にあたっている。

本部主催の主な講習会やイベントとして、6 月の「構造設計一級建築士修了考査解答例講習会」、9 月の「JSCA 建築構造士定期講習会」、10 月の「構造デザイン発表会 2025」11 月の「スキルアップセミナー」「アイス棒タワーコンテスト」などを開催した。アイス棒コンテストは 2 年ごとの開催で 3 回目となる。今回は応募数が多く、本選 33 チーム、エキシビジョンマッチ 16 チームに分けての開催となった。多くの観戦者も集い、たいへん盛り上がったイベントとなった。

しばらく中断していた「実務者研修【基礎編】」は、テキスト改定版が完成し、中国支部を筆頭に各支部主催の研修として再開した。九州支部ではオンラインにより各県で同時開催することで毎回 160 名以上の参加者があり、わかりやすく理解が深まったなどの高い評価が得られた。その他支部イベントとして、構造デザイン交流会、見学会などが数多く企画され、会員・非会員を問わず多くの参加者を集めて開催された。

国際活動としては、4 月に SEWC2025 が上海で開催され、JSCA 副会長が参加した。7 月に韓国建築構造技術士会の訪問を受け、建築現場と工場の案内を行った。日中建築構造技術交流会は 2026 年 10 月の日本開催に向けて準備を進めていたが、昨今の日中関係に配慮して延期が決定された。

2024 年度で中期ロードマップが終了したことを区切りとして、今後の JSCA 活動の方向性を検討する資料を得るために、9～10 月にかけて会員アンケートを実施した。23%の会員から回答があり、様々な意見が寄せられた。結果は JSCA WEB サイトに掲載している。アンケート結果から得られた課題に取り組み、より魅力的で価値ある活動につなげていきたいと考えている。

最後に協会の財務状況について触れたい。会員数・事業収益の減少が続いており、2023 年度以降 2025 年度も支出が収入より多い結果である。コロナ期の剰余金はすでに消費し、それ以前の資産残高に戻っている状況にある。2026 年度に本部 2 階会議室の賃借を終了するなど支出削減に努めるものの、諸物価上昇もあり今後も厳しい状況が続くことが予想される。活動をできるだけ収縮させないように、会員数増加や経費節減などの収益改善対策について、会員の皆様のご協力をお願いしたい。

2025 年度の重点目標に関する事業は下記の通りであった。

1) プレゼンス向上、会員増に向けた活動

(1) JSCA 会員の技術力向上および JSCA 建築構造士の価値向上と社会への周知に向けた施策

- ・前文に挙げた講習会・研究会・発表会などをはじめ、本部・支部で様々な講習会やイベントを開催し、多くの会員が参加した。
- ・本部から建築関係団体へ 80 名を超える委員派遣を実施しており、随時、情報共有を行っている。
- ・他団体講習会などへの後援も多く、JSCA 建築構造士評価点としても活用されている。
- ・JSCA 建築構造士の資格者は現在 1100 名弱である。受験者数は低迷しており、増加に向けた有効な解決策を見出せない状況が続いている。

(2) 建築構造における実務の多様化や専門化に対応した検定等を検討

- ・ニーズ等未調査のため具体的な検討には至らなかった。

(3) 会員相互の交流増による活動の活発化

- ・委員会活動を通して会員相互の交流を行っている。
- ・技術委員会の本部・支部共同開催を継続して行っている。2025 年度は中部支部で開催し、九州支部からも参加した。
- ・講習会・見学会だけでなく、会員交流のための懇親会や親睦会も多く開催した。
- ・一方で、学生会員や新入会員へのフォローは十分ではなく、会員継続へと導く活動が必要である。

(4) 技術力・創造力を高める活動・場の提供等による会員の増加に向けた活動

- ・「構造デザイン発表会 2025」は約 350 名が参加し、110 作品の発表と熱い議論が交わされた。
- ・この会での発表を契機とする入会者は多く、今回も 40 名が入会した。
- ・各支部でも同様の発表会・交流会が精力的に行われた。

(5) 今後の告示 8 号の見直しに備えた適正な業務量の把握および周知

- ・業務委員会に業務報酬基準検討 WG を設け、ASDO メンバーも加えて検討を続けている。

2) 「JSCA 耐震性能認証」運用に向けた活動

(1) 良質な社会資本形成を目的とし、JSCA 性能設計【耐震性能編】の普及

- ・建物の耐震性能を客観的に評価し、社会に明示することを目的に、JSCA 性能設計をベースとした認証制度を創設する。
- ・良質な社会資本と持続的な都市環境の形成に寄与することを目指す。

(2) JSCA 耐震性能認証運用に向けた活動

- ・技術委員会/性能設計部会を中心に、実施要領、審査要領を作成した。

- ・特別委員会として「JSCA 耐震性能認証委員会（竹内徹委員長）」を設けることを決定した。
- ・2026 年 6 月総会を機に運用を開始する。
- (3) 関係他団体との情報共有および連携
 - ・国土交通省建築指導課への事前説明を行った。
 - ・不動産レジリエンス認証（ResReal）、LEED 認証などとの関係性を調査した。

3) カーボンニュートラル社会実現へ向けて JSCA としての活動

- (1) 中・大規模木造建築の構造設計に係る情報整備
 - ・技術委員会/木質系部会で「中大規模木造建築物の Q&A」をまとめた。今後ホームページで公開予定である。
- (2) 木造関連会社との技術交流及び委員会活動等の活発化
 - ・技術委員会/耐火設計部会で作成した準耐火計算シートについて、技術報告会で報告した。
- (3) 「中大規模木造設計の合理化に向けての提言」に向けての検討
 - ・具体的な活動はなかった。
- (4) 国内森林資源の循環活用に繋がる提案に向けての検討
 - ・地球環境問題委員会を中心に議論を深めている。
- (5) 構造性能とリンクしたエンボディードカーボン削減推進
 - ・地球環境問題委員会から国土交通省 LCA 検討会へオブザーバとして参画し、情報収集を継続している。

4) BIM 普及・推進へ向けた活動

- (1) 構造設計における BIM の普及・推進へ向けた活動
 - ・引き続き、国土交通省「建築 BIM 推進会議」および関連部会に参画した。
 - ・国土交通省「デジタル社会に向けた公共建築工事標準仕様書のあり方に関する検討会」に参画し、特記仕様書データ化についての意見を提出した。
- (2) BIM を利用した品質、生産性向上へ向けた活動
 - ・特記仕様書データ化は終了し、基準図の議論を開始した。
- (3) 建築他団体との情報共有および連携
 - ・鉄骨基準図について鉄骨関係団体との連携協議を行うべく準備中である。

上記以外にも様々な事業を行った。詳細は会議報告、委員会活動報告、支部活動報告などを参照されたい。

1-2. 役員／体制

□役員	
会長	小林秀雄（代表理事）
副会長	中塚光一（代表理事） 杉浦盛基 山田憲明
専務理事	嵐山正樹（業務執行理事）
常務理事	日野康彦（業務執行理事）
理事	
本部担当	伊藤利明 江尻憲泰 大島嘉彦 太田俊也 奥野親正 嘉村武浩 楠本玄英 小林裕明 島村高平 瀧正哉 山口真一郎 安田拓矢 早稲倉章悟
支部担当	北海道 山脇克彦 東北 成田 諭 関東甲信越 一條 典 中部 塚越治夫 関西 島野幸弘 中国 近松英樹 四国 豊田恵介 九州 重松正幸
監事	新宮清志 向山松秀 横山一智
□支部長	関東甲信越 山内哲理 上記以外は各支部担当理事が兼務
□協会顧問	弁護士 服部成太 公認会計士 元森俊雄 前専務理事 福島正隆
□事務局員	職員数4名（うち大阪1名）

1-3. 会員数の推移

年度	正会員	一般会員	学生会員	賛助会員（本部）	名誉会員	学術会員	JSCA 建築構造士	構造設計一級建築士
10	4020	135		227	29	165	2457	※3275
11	3983	131		233	28	163	2249	※3368
12	3925	131	6	230	28	157	2183	※3342
13	3909	129	8	227	26	155	2113	※3355
14	3929	134	7	231	25	151	2030	※3388
15	3910	126	6	235	25	147	1957	※3353
16	3867	122	6	234	29	145	1862	※3342
17	3853	88	10	234	32	143	1785	※3308
18	3803	101	10	237	31	137	1727	※3250
19	3773	111	7	240	34	134	1638	※3205
20	3706	116	6	239	35	128	1576	※3161
21	3609	122	3	239	35	123	1469	※3071
22	3500	114	13	238	34	114	1380	※3000
23	3442	89	7	241	36	111	1200	※2922
24	3405	117	34	241	34	116	1149	※2894
25	3380	149	178	236	34	114	1081	※2850

※構造設計一級建築士証の写しを本協会に届け出た会員数